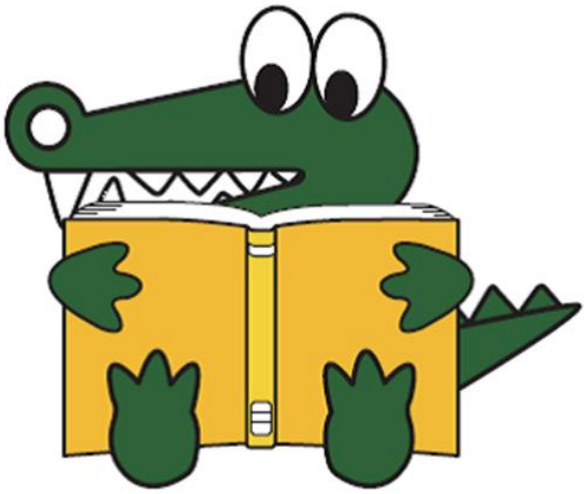
豊中市の図書館活動　Ⅰ

― 報 告 ―

令和 7 年度（2025 年度）版



豊 中 市 立 図 書 館

目次

はじめに 1

図書館の使命と理念 基本目標 2

1. 数値で見る令和 7 年度の豊中市立図書館のすがた 3

2. 令和 7 年度　トピックス 4

◆ 豊中市立図書館 80 周年 4

◆ 動く図書館 75 周年 4

◆ 蛍池図書館リニューアルオープン 5

◆ 北摂アーカイブス　Library of the Year 2025 受賞 6

◆ （仮称）中央図書館の整備検討 6

3. 地域・市民との協働 7

◆ しょうない REK（R：リサイクル　E：イベント　K：瓦版[情報]） 7

◆ 北摂アーカイブス ～地域情報アーカイブ化事業～ 8

◆ 関係団体一覧 9

◆ 市民との取り組み事業 10

4. 子ども読書活動連絡会 12

5. 事業報告 12

◆ ブックスタート事業「えほんはじめまして」 12

◆ 図書館で一時保育 ～ほっと一息 私の時間～ 13

◆ ヤングアダルト（YA）サービス 13

◆ 高齢者サービス 14

◆ 動く図書館「とよ１ぶっくる」による巡回サービス 14

◆ 障害者サービス 15

◆ レファレンスサービス 15
◆ 行政へのサービス（庁内仕事応援事業） 16
◆ 団体へのサービス 16
◆ 資料の収集と保存 18
◆ 暮らしの課題解決 19
◆ 人権・平和に関する取り組み 20
◆ 研修 21
6. 情報発信（広報・広告など） 22
7. 職員による出前講座・講師派遣、視察 24
8. 図書館協議会 25
9. 図書館評価 26
10. とよなかブックプラネット事業 26
11. 豊中市（仮称）中央図書館基本構想 26
施設案内 28

はじめに

豊中市立図書館は、戦争末期の昭和 20 年 3 月に市役所の一角で誕生しました。そして昭和 25 年には、市立図書館としては全国に先駆けて動く図書館による巡回サービスを開始し、市民のみなさんとともに歩みを重ねながら、本と人、人と人をつなぐ知の拠点として発展してきました。

令和 7 年度には開館 80 周年を迎え、記念イベントの開催を通じて、あらためて図書館の歴史と役割を見つめ直す機会となりました。 4 月には「だれもが居心地のよい図書館」をコンセプトに蛍池図書館がリニューアルオープンしました。新たな利用者層にも利用が広がるなかで、多世代が集い、学び、くつろぐことのできる図書館の可能性を模索する取り組みを進めていきます。

また、活動開始から 15 年を迎えた「北摂アーカイブス」は、市民と図書館等が協働して地域の写真や記録を保存・発信する活動として継続してきました。その実践が評価され、「Library of the Year 2025 ライブラリアンシップ賞」を受賞しました。

一方、（仮称）中央図書館につきましては、豊島公園での整備に向けた調査・検討をおこなっています。令和 8 年 1 月には「曽根駅周辺まちづくりプロジェクトチーム」が発足し、図書館単体ではなく、まちづくり全体の視点から、その役割や機能についてさらに議論を重ねていきます。

今日、情報を得る手段は多様化し、社会や地域のあり方も大きく変化しています。本には人の心を豊かにし、人や地域をつなぐ力があります。図書館は、市民のみなさんとともに、その力を未来へつなぎ、誰もが本と出会い、学びや発見を得られる環境づくりに努めてまいります。

令和 8 年 9 月

豊中市立岡町図書館長

西口　光夫

図書館の使命と理念 基本目標

＜公共図書館の使命・理念＞

- 多様な資料や情報を収集･保存し提供することによりすべての市民に知る機会を保障します。
- 民主主義と地方自治の発展に寄与します。
- 市民の生きがいや心の豊かさを生み出す生涯学習を推進します。

＜豊中市立図書館の使命・理念＞

- 豊中市立図書館は｢ユネスコ公共図書館宣言｣･｢図書館法｣･｢図書館の自由に関する宣言｣に基づき、多様な資料や情報を収集・保存し提供します。
- 豊中市立図書館は、すべての市民に知る自由を保障することにより、民主主義や市民自治の発展に、寄与します。
- 豊中市立図書館は、教育･文化･情報･社会参加の機関としてその任務を果すことを使命とします。

＜豊中市立図書館の基本目標＞

1. 図書館活動全般を通じて教育と文化の向上に貢献し、人権を尊重するまちづくりをめざします。
2. 図書館活動を活発に展開することにより､市民生活に密着した､より質の高いサービスを提供します。
3. 図書館の運営については、納税者が納得できるよう透明性が高く、無駄のない、効果的な運営に努めます。
4. 資料提供については、利用者の秘密を守り、知る自由を保障するため、最善を尽くします。
5. 市民が、より豊かで潤いのある文化的な生活を営むために、必要な資料や場を提供し、市民の人間的・文化的教養の醸成を支援します。
6. 日常生活や仕事における、さまざまな課題を解決するために、必要な情報や知識を提供し、個人の能力開発や地域のビジネス活動を支援します。
7. メディアリテラシーの向上にむけ環境を整え、情報格差を解消し、市民の情報生活がより豊かになるよう努めます。
8. ｢豊中市子ども読書活動推進計画｣*に基づき読書環境を整備し、子ども読書活動を推進します。
9. 高齢者や障害者等誰もが利用しやすいよう、情報提供を進め読書環境を整備し、すべての人が共生できる地域社会の実現に貢献します。
10. 地域情報を図書館に集め、地域の活動拠点や居場所として、地域の文化創造に積極的に参画し、コミュニティの活性化に努めます。
11. 図書館協議会や市民活動団体・市民等の参加や協力を得ながら､｢豊中市市民公益活動推進条例｣等を踏まえて、より魅力的な図書館の運営に努めます。
12. 行政機関に対して適切な情報支援を行い、行政の政策立案等を側面からサポートすることにより、市民生活の向上に努めます。
13. 他の図書館や地域の大学・専門機関等とも連携・協力し、より高度で幅広い市民ニーズに対応できるよう努めます。
14. 図書館活動全般を通じて、多文化共生社会の確立に貢献します。

＊ 「豊中市子ども読書活動推進計画」は「豊中市子育ち・子育て支援行動計画　こどもすこやか育みプラン・とよなか」に継承。

豊中市立図書館における評価のあり方について（提言）
平成 19（2007 年）6 月　豊中市立図書館協議会

1. 数値で見る令和７年度の豊中市立図書館のすがた

人口	397,430 人
個人登録者数	125,979 人
個人貸出冊数	3,157,749 冊
団体貸出冊数	126,064 冊
貸出人数	934,830 人
予約（受付）件数	1,037,280 件

調査相談件数	86,809 件
年間利用者数（入館者数）	1,545,645 人
職員数（うち常勤）	119（42)人
蔵書冊数	1,000,415 冊
年間受入冊数	39,194 冊
図書購入費	66,134,271 円

※貸出冊数は継続を含む
※年間利用者数（入館者数）は図書室・サービスポイント・動く図書館含まず

◆ 市民 1 人あたりの　図書購入費は　166 円　（電子書籍を含むと 203 円）
　　蔵書数は　2.5 冊　（電子書籍を含むと 2.6 冊）
　　貸出冊数は　7.9 冊　（電子書籍を含むと 8.0 冊）

◆ 開館日 1 日あたりの来館者数は　5,139 人　図書室・サービスポイント・動く図書館含まず

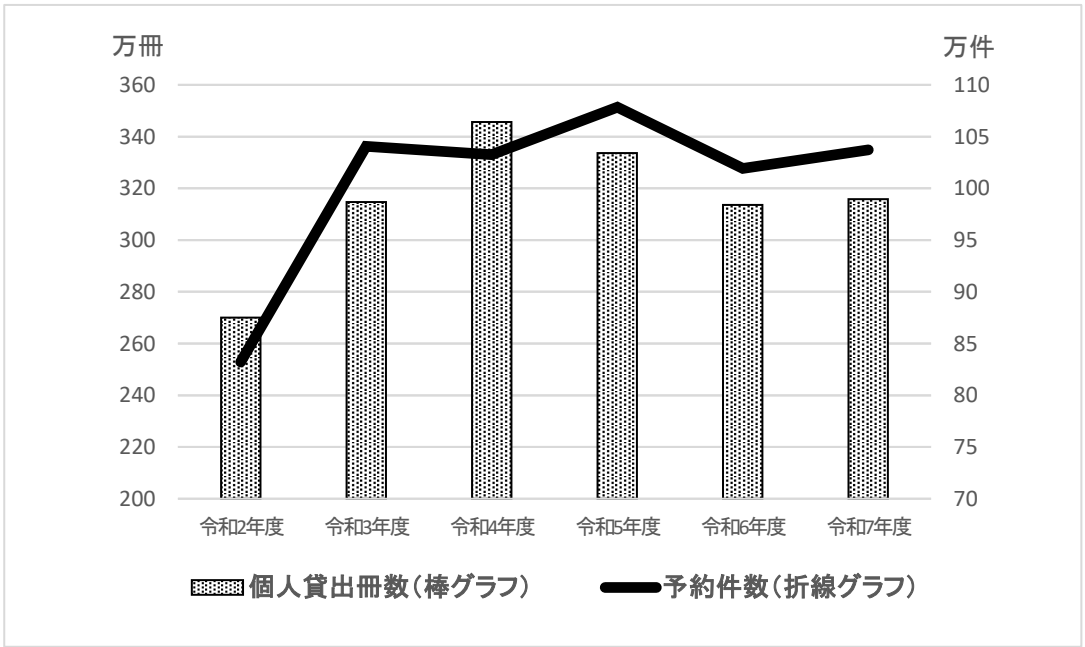
◆ 利用者登録率は　31.7%

※登録率…平成 17 年度より有効期間 5 年の更新処理を実施

◆ 蔵書回転率は　3.2 回

※蔵書回転率…一冊の蔵書が平均何回貸し出されたかを示す

＜個人貸出冊数および予約件数の推移＞



2. 令和 7 年度　トピックス

◆ 豊中市立図書館 80 周年

豊中市立図書館は、昭和 20 年 3 月に市役所内に併設されてから令和 7 年で 80 周年を迎えた。それを記念し、図書館に市民がより親しめるようさまざまな取り組みを展開した。

4 月から 6 月にかけて、4 館で作品展「乾千恵の書の絵本『月人石』の世界」をおこなった。展示期間中には、絵本に関連した音楽イベント（アンデスのフォルクローレ鑑賞会やインドネシアのガムランと人形芝居）も開催した。

10 月には、豊中市にゆかりのある作家・増山実さんを招き、講演会「増山実の世界～昼下がりのトヨナカで～」を開催。また、北摂アーカイブスでは、講演会場を含め 8 館で写真巡回展をおこなった。

全館で記念缶バッジを配布したほか、岡町図書館エリアでは、地域の子どもたちが図書館に通うときに使えるようにと布バッグの寄付を受け、来館する子どもにプレゼントした。

◆ 動く図書館 75 周年

戦後まもない昭和 25 年、市内のすみずみまで本を届けようと車に本を積んで走り始めた動く図書館が、令和 7 年に 75 周年を迎えた。11 月～12 月の動く図書館では、これまでの歴史を振り返り、祝う記念行事を各ステーションで実施。令和 8 年 3 月には紙芝居等貸出用手提げ袋の 75 周年記念バージョンを 200 枚作成し、各図書館で利用者へ提供を始めた。そして次の 75 年に向け、未来の動く図書館を考えていくため、市民や図書館職員に向けて動く図書館に関するアンケートを実施した。また、図書館協議会に動く図書館について諮問するなど、多方面からご意見をいただいた。

昭和 26 年・桜井谷地区巡回風景

動く図書館 75 周年記念イベント

手提げ袋・75 周年記念バージョン

◆ 蛍池図書館リニューアルオープン

リニューアル後の蛍池図書館

蛍池図書館は、子育て世代がより使いやすい機能を備え、多世代交流機能を有した図書館として、令和 7 年 4 月 1 日リニューアルオープンした。

コンセプトは「だれもが居心地のよい図書館」。予約多数の人気の本などが読める閲覧専用図書コーナーや、飲食可能な読書スペース「ソラ」、自学自習可能な読書スペース「モノ」、靴を脱いでくつろいで本を楽しめるえほんスペース「はらっぱ」、授乳室、親子トイレを新設した。

リニューアルオープニングイベントとして、同志社大学名誉教授の廣田收さんによる講座「紫式部の世界にふれる 『源氏物語』と紫式部」や、市民団体「蛍池図書館を考える会」との共催で、蛍池で生まれた方・蛍池で活躍する方・蛍池が大好きな方たちをゲストに招いたトークライブ「…そして、集う、蛍池図書館で」（全 3 回）を開催。また、新しい館内を案内する「蛍池図書館ウェルカムツアー」も 1 週間にわたって実施、その後も申込みがあれば随時実施している。

第 1 回「…そして、集う、蛍池図書館で」

市民の好奇心の触発を目指し、月 1 回の読書イベント「ほっとブックミーツ」や、図書館が入居しているルシオーレビル内の店舗と連携しての資料展示・講座、地域の方や企業と連携してのイベント、休館日を利用した館内での撮影会など、年間を通して多様な取り組みを展開している。

2 月には、「一緒につくろう！蛍池図書館」を「蛍池図書館を考える会」と共催。リニューアル後の報告をおこなうとともに、市民から蛍池図書館に対する思いや感想、要望等を直接伺う機会とした。

リニューアルオープン前のプレ事業として実施していた社会教育課・蛍池公民館との連携講座は令和 7 年度も実施。前年度開催の講座のラインナップに加えて、コーヒーのドリップ・販売をおこなう人材を育成する講座を新たに開催、最終回では実際に蛍池図書館内でコーヒーを販売した。

これからも市民の声を聴き、地域や他課と連携しながら、だれもが居心地のよい図書館を目指していく。

◆ 北摂アーカイブス　Library of the Year 2025 受賞

北摂アーカイブスは、「地域の記憶を　地域の記録へ…」というコンセプトのもと、平成 22 年 3 月に活動を開始した。図書館を事務局として、市民ボランティア「地域フォトエディター」が、北摂地域に散在する写真をはじめとする地域情報を収集・整理し、電子データとして保存。地域情報の百科事典のようなホームページを作り、公開してきた。活動開始から 15 年目を迎えた令和 7 年に、市民と行政が協働して継続してきた地域のデジタルアーカイブ活動が評価され、「Library of the Year 2025　ライブラリアンシップ賞」*を受賞した。

図書館総合展での表彰式

受賞トロフィーと表彰状

＊　これからの図書館のあり方を示唆するような先進的な活動を行っている機関に対して、NPO 法人 知的資源イニシアティブ(IRI)が毎年授与する賞。

◆ （仮称）中央図書館の整備検討

（仮称）中央図書館の整備は、計画地として阪急電鉄宝塚線曽根駅前の候補地を選定し、整備に係る基本協定書締結に向けた民間事業者との協議をおこなってきた。協議の結果、当該事業者との協議を打ち切ることとし、令和 7 年 3 月議会で議決を受けた債務負担行為額を取り下げる議案を令和 7 年 12 月議会に提出した。（仮称）中央図書館については、第二候補地である豊島公園での整備を検討することとした。

3. 地域・市民との協働

豊中市立図書館は、子どもの読書活動推進・障害者サービス・多文化サービスなど市民との協働によって、さまざまな分野の事業に長年取り組んできた。豊中市における子ども読書活動は、「豊中子ども文庫連絡会（豊子連）」や「おはなしボランティアポケット」のほか、市民とともに築き上げてきたものである。また障害者サービスでは、市民グループによる点字図書・録音図書・さわる絵本の製作や対面朗読などにより、目や体の不自由な人の読書環境を整備してきた。

令和 7 年度は、おはなし会・ブックスタート事業「えほんはじめまして」・障害者サービス（対面朗読・音点訳図書製作）・しょうない REK・北摂アーカイブス事業・図書館サポーターの活動・ヤングアダルトサービスなどにおいて、協働による取り組みを進めた。4 月にリニューアルオープンした蛍池図書館では市民団体とともに、「…そして、集う、蛍池図書館で」や「一緒につくろう！蛍池図書館」などの夢見る図書館企画を実施した。また、夏休みには地域の高校生・大学生による小学生向けの「なつやすみプリント宿題おうえん」をおこなった。

図書館は、資料・情報と人をつなぐ役割を基盤に、人と人、地域や組織がつながるすべての人にとっての「わたしの図書館」であることをめざしている。協働により市民感覚を事業に反映し、地域に根ざした図書館活動につなげていく。

◆ しょうない REK（R：リサイクル　E：イベント　K：瓦版[情報]）

正式事業名：「多世代交流等のための場づくりと庄内コラボセンターの賑わい創出に関する事業」

しょうない REK は令和 4 年度に改めて協働事業市民提案制度の採択を受け、「多世代交流等のための場づくりと庄内コラボセンターの賑わい創出に関する協定」を市と締結し、庄内コラボセンターを拠点に活動している。令和 7 年度は、庄内コラボセンターでの活動について話し合う「ショコラひろば会議」を全 6 回おこなった。

庄内コラボセンター1 階の吹き抜け部分には、カフェスペースが設置されており、その隣の壁面には一面に本棚が据え付けられた図書館リサイクル本販売コーナーがある。カフェの営業時には、リサイクル本の販売もおこなわれており、地域に定着している。令和 7 年度の販売は 81 回、販売合計冊数は 3,179 冊であった。

庄内コラボセンター1 階・REK カフェ

さらに、庄内コラボセンターで開催された「ショコラ REK 夏まつり」や「ショコラフェスタ」などのイベントで古本市をおこない、多くの来場者でにぎわった。令和 7 年度の古本市での販売合計冊数は 1,322 冊であった。

また、『図書館雑誌 4 月号　特集／市民提案による図書館との協働』（日本図書館協会）で、しょうない REK の取り組みを紹介した。

◆ 北摂アーカイブス ～地域情報アーカイブ化事業～

市民ボランティア「地域フォトエディター」とともに地域の記録（写真）を収集・デジタル化しキャプションをつけて Web 上で公開している。図書館は北摂アーカイブス事務局として、市民とともに活動している。

令和 7 年度は、市内 8 か所の図書館における写真巡回展のほか、千里阪急ホテルの閉館に伴って開催されたイベントへの写真提供をおこなった。また、巡回展示期間中に開催された豊中市立図書館 80 周年事業講演会「増山実の世界～昼下がりのトヨナカで～」に合わせて、講師の著書に関連する新たな写真パネルの提供に協力した。講演会当日の会場では、地域フォトエディターが展示写真の説明等をおこなうとともに、日頃の活動紹介をし、新たなメンバー募集に努めた。

地域フォトエディターは、写真整理や情報交流のために定例会を開催し、活動をおこなっている。

写真パネル作成

豊中市立図書館 80 周年記念
『北摂アーカイブス 写真巡回展』ポスター

◆ 関係団体一覧

子どもの読書支援	高齢者・障害者読書支援
＜子ども文庫＞ ＊おひさま岡町文庫 おひさま文庫 ＊きずなの里文庫 くれよん文庫 ＊Kei おばさんの本の部屋 月よう文庫 ＊そよ風文庫 ＊つみ木文庫 ＊仲よし文庫 ＊にじいろ文庫 はんぶんぶんこ まめぶんこ ゆめのき文庫 ＊のぞみ文庫 （＊印は豊中子ども文庫連絡会加入文庫）	大阪声のグループ 豊中点訳会 グループ・エコー さわる絵本　かすみ草
	多文化読書支援
	とよなか国際交流協会 国際交流の会とよなか（TIFA）
	読書会
	つぐみ読書会 とよ読書会（豊中市立図書館利用者の会） 豊中読書会 原田読書サークル 木よう読書会
	朗読グループ
おはなしボランティアポケット 豊中紙芝居の会 千里ストーリーテリングの会 野畑おはなしの会 ミックス JAM おはなしたまてばこ おはなしたんけんたい 紙芝居クラブともだちや	草の実会
	その他
	豊中図書館の未来を考える会 蛍池図書館を考える会 しょうない REK 北摂アーカイブス 赤ちゃんからの ESD coral 蛍池・遊びのプロジェクト（HAP）

◆ 市民との取り組み事業

事 業 名	団 体 名	開催数（日数）	実施館
子ども読書活動連絡会	子ども読書活動連絡会委員	2	岡町
子どもと本のつどい（講演会・原画展）	豊中子ども文庫連絡会	1(15)	岡町
子どもと本のまつり		1	蛍池
豊中子ども文庫連絡会例会　等		10	岡町
おはなし会がやってきた	ミックス JAM･おはなしボランティアポケット	3	岡町
おはなしボランティアポケット例会　等	おはなしボランティアポケット	9	岡町
子どもと本をつなぐボランティア講座		6	岡町
おはなし会　等		25	岡町
		13	庄内
		20	服部
		12	高川
		22	蛍池
おはなしたっぷり	おはなしボランティアポケット･ストーリーテリングの会	7	岡町
ときどきおはなし会　等	千里ストーリーテリングの会	12	千里
おはなしたんけんたい	おはなしたんけんたい	46	東豊中
大人のための朗読サロン	朗読グループ「草の実会」	2	東豊中
おはなしプレゼント（定例会）等	野畑おはなしの会	30	野畑
冬のおたのしみ会	Kei おばさんの本の部屋	2	野畑
おはなし大会	ミックス JAM･野畑おはなしの会	3	野畑
おはなしランド紙芝居スペシャル	ゆめのき文庫	1	庄内
ブックスタート事業「えほんはじめまして」	豊中子ども文庫連絡会･おはなしボランティアポケット･登録ボランティア	18	岡町
		14	庄内
		15	千里
ブックスタート事業「えほんはじめまして」スタッフ研修・懇談会　等		2	岡町
ショコラ広場会議 等	しょうない REK	6	庄内
古本市（とよなか市民環境展・夏まつり等）		3	庄内
リサイクル本コーナー		81	庄内
絵本の世界を奏でるインドネシアのガムランとワヤン		1	庄内
図書館サポーター	登録ボランティア	26	庄内
		20	野畑

事 業 名	団 体 名	開催数（日数）	実施館
北摂アーカイブス定例会　等	北摂アーカイブス	22	岡町
北摂アーカイブス写真展		2(16)	岡町
		1(30)	庄内
		1(23)	千里
		1(23)	野畑
		1(23)	東豊中
		1(27)	服部
		2(61)	高川
		2(54)	蛍池
音訳ボランティアフォローアップ講座（含：選定会議）	グループエコー･大阪声のグループ 等	3	岡町
おかまちおやこ	とよなか国際交流協会	33	岡町
しょうないおやこ		14	庄内
せんりおやこ		34	千里
せんりにほんご	せんりにほんご	18	千里
YA ボランティア活動	YA(やー)らぼ	10	千里
千里親子ふれあい広場	赤ちゃんからの ESD coral	5	千里
高川・とよなか地域子ども教室	千里ネイチャークラブ	8	高川
野畑地区人権講演会	野畑地区人権協議会	1	野畑
紫式部の世界にふれる『源氏物語』と紫式部	蛍池図書館を考える会	1	蛍池
…そして、集う、蛍池図書館で		3	蛍池
一緒につくろう!蛍池図書館		1	蛍池
憩の家に本棚をつくりました		3	蛍池
ほたるがいけかるたであそぼう！	蛍池・遊びのプロジェクト（HAP）	1	蛍池
SMILE 読者交流会「豊中在住の絵本作家・きどまやさんと絵本を楽しむワークショップ」	とよなか子育て応援マガジン SMILE（スマイル）	1	蛍池
きどまや絵本パネル展		1(24)	蛍池
蛍池夏まつり DAY「さかなつりゲーム」	蛍池納涼祭実行委員会	1	蛍池
蛍池ハロウィン DAY「おはなし会とおばけひきゲーム」	蛍池ハロウィンイベント実行委員会	1	蛍池
ほたるんせつぶん DAY「せつぶんおはなし会とおりがみ」	団欒長屋プロジェクト	1	蛍池

4. 子ども読書活動連絡会

「豊中市子ども読書活動推進計画」は「豊中市子育ち・子育て支援行動計画　こどもすこやか育みプラン・とよなか」に継承された。その理念に基づき、関係部局・施設・団体・市民と連携する子ども読書活動連絡会を組織。子どもの読書環境の整備と読書活動の推進に取り組んでいる。

令和7年度は会議を2回開催。第1回は、委員の所属の新たな取り組みや課題などの情報交換をおこなった。また、「2025年度とよなかこども読書マップ*」の更新をおこなった。第2回は、「AI時代を生きる子どもたちと読書」についてグループワークと発表をおこなった。

今後も子ども読書活動連絡会の協力体制のもと、子どもの読書活動の推進に取り組む。

＊　子どもが身近なところで本を楽しめるよう、豊中市内で本の貸出やおはなし会を実施している施設・場所などを一元化したマップ。

5. 事業報告

◆ ブックスタート事業「えほんはじめまして」

絵本を通して赤ちゃんと保護者が楽しいひとときを過ごしながら、心ふれあう時間を持つきっかけとなることを目的に、子育ち・子育て支援事業の一環として 4 か月児健康診査時に実施している。図書館とおやこ保健課、そして「豊中子ども文庫連絡会」・「おはなしボランティアポケット」をはじめとする市民ボランティアが連携・協働し、健診を受ける一組一組に読み聞かせをし、絵本を手渡している。この事業は、絵本を仲立ちとした子育て支援であり、母語が外国語の人や障害のある人を含む、市内のすべての赤ちゃんとその保護者との関わりを持つ貴重な機会である。

各会場のトピックスとして、庄内会場（庄内コラボセンター）では、ゼロカーボンシティ推進課の子ども服リユースや、美化推進課の幼児図画入選作品の展示を同時におこなった。千里会場（千里文化センターコラボ）では、5 月に近隣自治体の見学、6 月に図書館実習生の参加があった。

フォローアップ事業として「すくすく赤ちゃんタイム」を継続しており、おはなし会と保健師による子育てにまつわる話を組み合わせて各図書館で実施した。

母語が外国語の受診者が増えていることもあり、公益財団法人とよなか国際交流協会の山根絵美さんを講師に迎え、「外国にルーツのある親子への対応」をテーマとしたスタッフ研修をおこなった。

令和 7 年度も新規ボランティアを募集。13 人が登録し、令和 8 年度からスタッフとして活動予定である。

スタッフミーティング

「えほんはじめまして」庄内会場

◆ 図書館で一時保育 ～ほっと一息 私の時間～

月に1回午前に2時間、保育士が子どもを預かることで、子育て中の方が館内で本を選んだり読んだり、一息つける時間をサポートしている。対象は生後7か月から未就学児。定員は千里、野畑図書館では6～12人、岡町図書館では8～16人。保育料は550円（税込）。

令和7年度は、岡町図書館に1名保育士を増員することで定員を増やし、3館で計36回実施した。また、図書館が取り組む子育て支援事業として、自治体や大学図書館等からの視察を7回受け入れた。

◆ ヤングアダルト（YA）サービス

ヤングアダルト（YA）とは、主に中学生・高校生（12～18歳）の世代をさす。

令和7年度は、執筆担当者をこれまでの岡町図書館だけでなく全館に拡大し、とよなかっ子ライン（こども専用チャット相談／こども安心課）にて司書のおすすめ本を紹介した。

岡町図書館では、子ども読書活動フォーラムのビブリオバトルチャンピオンシップ中学生大会の紹介本展示をおこなった。野畑図書館では過去3年間のYA貸出ランキングベスト10の展示をおこなった。

おもな取り組み	実施館
高校情報パンフレット展示と配布／とよなかっ子ラインにて司書のおすすめ本を紹介	全館
豊中高校ボランティア「志学」の受入れ	岡町、庄内、千里、東豊中、蛍池図書館
中学生職場体験学習の受入れ	岡町、庄内、千里、野畑図書館
中学生職場体験学習おすすめ本 POP 作成・展示	岡町、庄内、野畑図書館
とよなか男女共同参画推進センターすてっぷとの連携展示 「「好き」×「じぶんらしさ」=無限大の未来!!」	岡町、庄内、千里、服部、高川、蛍池図書館
各館の取り組み	
刀根山高校「探求」授業のインタビュー協力／大学生インターンシップおすすめ本 POP 展示／子ども読書活動フォーラムのビブリオバトルチャンピオンシップ 中学生大会紹介本展示	岡町図書館
庄内さくら学園美術部員によるブラックボード制作／ヒトハコ展示	庄内図書館
YA らぼ(YA！BOOKS 通信発行・おすすめ本 POP 展示・おはなし会)／千里青雲高校図書委員によるおすすめ本 POP 展示／市内高校および私立中学への学校訪問	千里図書館
おすすめ本 POP 展示／「中学生のおすすめ続々」／過去 3 年間の YA 貸出しランキングベスト 10 を展示	野畑図書館
小中学校（東泉丘、泉丘、東豊台、東豊中小学校・第十五、第十七中学校）連携巡回 POP 展示／第十五中学校「15 中いちごフェスタ」への参加	東豊中図書館
第十二中学校生徒によるエリア内小学校での紙芝居会への資料提供、後日生徒の感想を展示／エリア内の小中学校と連携し夏休み中にスタンプラリーを実施／第十二中学校生徒おすすめ本コーナーを設置	高川図書館
箕面自由学園高校ボランティアの受入れ／蛍池図書館リニューアル 1 周年を祝って蛍池地域の学校司書による「頑張るあなたを応援」YA 本の紹介 POP 展示	蛍池図書館

◆ 高齢者サービス

高齢者が社会･地域とつながり､人生をより豊かに生きる社会の実現に向け､以下のように取り組んできた。

施設の環境面ではバリアフリー化に加え、車いす・老眼鏡・リーディングルーペ・拡大読書器の貸出、血圧測定器・磁気ループの設置など、各図書館の施設環境に応じて整備・提供している。また、市内を巡回する動く図書館には、車いす用電動リフトを搭載している。

図書館資料としては大活字本や朗読 CD を所蔵。庄内図書館の「シニアライフ応援コーナー」、蛍池図書館の「人生 100 年コーナー」、岡町図書館の「医療・健康情報コーナー」では高齢者のニーズが高い資料を 1 か所に集約し、探しやすい資料配置としている。また、市内の高齢者施設 7 団体にリサイクル図書など 332 冊を譲渡した。施設職員によって高齢者向けのおはなし会がおこなわれている施設もあり、紙芝居も含め様々な図書館資料を貸出している。豊中市デジタル図書館においても、健康・食生活・介護などの関連テーマや、シニア向けのデジタル機器・旅行・生活・趣味の本やエッセイなどを提供している。電子書籍は文字の拡大や白黒反転、読み上げ機能など高齢者が利用しやすい補助機能をもつものが多い。また、インターネット経由でどこででも利用できるため、来館が困難な高齢者もアクセスしやすい。今後、電子書籍についても資料の充実と利用の拡大を図っていく。

連携事業としては岡町、庄内、千里、野畑、東豊中、蛍池図書館で、長寿安心課および豊中市キャラバン・メイト連絡会と共催し、「認知症サポーター養成講座」を 6 回実施した。また、千里、服部図書館では健康推進課と共催し、医療健康情報レクチャー「健口で健康長寿に～オーラルフレイルになっていませんか～」を 2 回実施、歯科衛生士による講座およびオーラルフレイルのチェックなどをおこなった。いずれにおいても、図書館からは関連図書の展示・貸出や、図書館職員による医療・健康情報のメディアリテラシーについての啓発活動をおこなった。また、長寿安心課との連携事業として、9 月の認知症月間には動く図書館を含めた全館で、関連図書やポスターなどを展示した。高川図書館では緑地地域包括支援センター高川分室との共催で、月 1 回認知症予防のための「よってほっと高川」を実施。8 月には小学生対象の「認知症サポーター講座 for Kid's」と同時に認知症関連本の紹介展示をおこなった。また、介護予防センターと共催で多世代交流事業「まごころサロン」を 5 回実施。地域の高齢者が講師となり全世代を対象とした季節の工作などをおこなった。

そのほかの取り組みとして、庄内図書館では図書館サポーターとして高齢者の参加もあり、本の修理や装備などに意欲的に取り組む姿が見られた。

◆ 動く図書館「とよ１ぶっくる」による巡回サービス

図書館から遠い地域や来館が困難な子どもの通う施設へ、約 3,500 冊の資料を積載した移動図書館車が巡回をおこなっている。令和 7 年度の巡回ステーションは 19 か所、おおむね 4 週間に 1 回の頻度で合計 217 回出動した。

7 月にテレビ大阪番組「大阪 43 市町村を大調査！誰も知らんキング」で移動図書館特集があり、豊中市は積載冊数で第 3 位にランクイン。市町村立では日本最古の移動図書館として紹介されたほか、アルビス旭丘での巡回風景と利用者インタビューが放映された。

苛烈な暑さの夏季も、巡回は継続している。熱中症対策として、体調に無理のない範囲でご利用いただくよう利用者へお伝えする案内チラシを 6 月から配布。7 月～9 月は休憩用ベンチや扇風機を設置し、うちわや保冷剤の提供をおこなうなど、利用者および職員の熱中症対策に取り組んだ。

夏季の熱中症対策

あおぞらおはなし会

気候が穏やかな秋には、おはなしボランティアポケットの協力も得て、絵本や紙芝居の読み聞かせ「あおぞらおはなし会」を 12 か所のステーションで実施。開放的な屋外空間で、大人も子どもも一緒におはなしの世界を楽しんだ。

施設巡回は、児童発達支援センターと府立豊中支援学校の 2 か所。長く地域で活動されてきたおはなしグループ（ミックス JAM、おはなしボランティアポケット）による「おはなし会がやってきた！」を両施設で開催した。来館困難な子どもたちに本の楽しさを届けようと、平成 2 年に始まった本事業は 36 年目を迎えた。

◆ 障害者サービス

障害福祉センターひまわりとの共催で、夏休みに小学生とその保護者を対象に「おやこ点字体験教室」を開催した。普段点字に触れることの少ない子どもたちが自ら点字を打ち、様々な資料にふれる体験を通し、視覚障害者やボランティア活動への理解が深まる機会を設けた。また音訳ボランティアのスキルの維持・向上を目的とした「音訳ボランティアフォローアップ講座」を例年通り実施した。

音点訳図書の製作候補の選定にあたっては例年同様に個別に聞き取りをし、利用者のリクエストも反映できるようにした。製作されたデータは国立国会図書館やサピエ図書館[*1]を通して全国の利用者に提供しており、新作の音声デイジー図書[*2]はすぐにリクエストが入るなどニーズが高い。また、個々のリクエストに応えるため、所蔵のない音点訳図書については「プライベート音点訳」として各ボランティアに製作を依頼した。

Daigas グループ小さな灯運動から拡大読書器（携帯型）クローバー4、伊藤忠記念財団からマルチメディアデイジー図書「わいわい文庫」の寄贈があった。

新規登録やプライベート音点訳が増加し、障害者サービスのニーズの高まりを感じる一年となった。今後も多様化するニーズに応えられるようサービスの提供に努める。

＊1　音点訳図書をはじめとする障害者用資料の所蔵施設などが調べられる全国的な書誌データベース。

＊2　音声情報を圧縮して記録した録音図書。

◆ レファレンスサービス

資料を用いて、日常の疑問や仕事で必要な情報など、市民のさまざまな調べものをサポートしたり、関連機関や相談窓口・専門家の紹介をおこなったりしている。質問は対面のほか、「e-レファレンス」としてオンラインでも受け付けている。

豊中市立図書館 Web サイト「e-レファレンス」

レファレンス記録の一部は、国立国会図書館レファレンス協同データベースへ登録し、Webサイトで一般公開している。令和7年度に登録したレファレンス事例のうちよく閲覧された事例は、「地方自治法第二百三十八条の四（行政財産の管理及び処分）で定められている行政財産の貸付と使用許可の違い等について詳しく解説した資料はあるか。あわせて事前納付以外の貸付料の納付方法や額の決定方法等の具体的事例がわかればなおよい。」であった。

回答にあたっては、市内所蔵の資料だけでなく、国立国会図書館や大阪府立図書館など、他の図書館のレファレンスや協力貸出の利用をはじめ、国立国会図書館デジタルコレクション、新聞記事や辞事典のオンラインデータベースなどWeb上の情報も参照し、多様な情報の提供と内容の充実をはかっている。

今後も紙・デジタル双方の資料を活用して、市民から寄せられる多様なレファレンスに対応していく。

◆ 行政へのサービス（庁内仕事応援事業）

庁内各部局に対する資料の貸出やレファレンスサービスに加え、ブックリストの配布や庁内サイトへの掲示により、各職階の新任職員研修や課題研修で関係資料の紹介などの情報提供をおこなっている。レファレンスでは、先述の行政財産に係る先行事例・他市要綱などの調査や、業務改善に関する参考資料の調査などの依頼があった。

◆ 団体へのサービス

学校・放課後こどもクラブ・幼稚園・保育所（園）・こども園・放課後等デイサービス・高齢者施設・障害者施設や、子ども文庫、おはなしボランティアグループ、読書会などの市内の活動グループに資料貸出などの支援をおこなっている。

＜学校図書館＞

学校内での児童・生徒のリクエスト対応の支援や、調べ学習に使用する資料の提供などを実施している。公共図書館司書と学校司書との地域館交流会は年に2回開催。公共・学校間およびエリアの学校間での情報交換などをおこない、連携事業を進めている。

「みんなに愛され１周年」展示

野畑図書館では12月に「ありがとう万博～世界の国を知ってみよう～」をテーマに本の展示を学校図書館と同時開催した。資料を見て万博を懐かしむ親子の声が聞かれるなど、市民の関心に合った展示となり、多くの貸出にもつながった。蛍池図書館では3月に連携展示「みんなに愛され１周年」を実施。蛍池地域の学校司書によるリニューアルオープン1周年お祝いメッセージとYA世代を応援するおすすめ本の紹介・展示をおこなった。

＜学校図書館支援ライブラリー＞

学校図書館の「読書」「学習・情報」「教員支援」の3つの機能をサポートしている。

令和7年度は、「漢字辞典」の追加購入のほか、サポートパックについても内容の見直しをした。特に「のりもの」「国際理解」「ヒトのからだ」「どうぶつ」などは、学校図書館のニーズに応えて新たな資料を購入し、古い資料と差し替えるなど充実を図った。

また、庄内図書館には教員支援資料コーナーを設け、カリキュラム作成や教材づくりに関する資料を収集し、市内の図書館や学校図書館を通じて提供している。

＜幼稚園・保育所（園）・こども園・放課後こどもクラブなど＞

幼稚園・保育所（園）・こども園・家庭保育所・認可外保育施設に団体貸出をおこなっている。季節や行事などに関係する資料や、平和・家族・仕事などがテーマの資料に関するリクエストも多い。各施設の相談に応じ、選書などの支援をしている。放課後こどもクラブへは、申込があった21校に団体リサイクル本「ひと箱おまかせパック」を配達した。

＜子ども文庫＞

市内の子ども文庫は14文庫。そのうち「豊中子ども文庫連絡会（豊子連）」加入は8文庫。それぞれの地域で子どもに本を手渡し、子どもの育ちを見守る活動が続けられている。子どもの身近な居場所として、また、子どもをとりまく大人の交流の場として地域に根づいている。図書館は長期の団体貸出や必要なテーマの資料を提供するなど文庫活動の支援に努めている。

「子どもと本のまつり」（共催:豊子連）は7月に開催。3つのおはなし会と手作り工作をおこなった。国際交流の会とよなか（TIFA）協力のもと、ベンガル語とマレー語による多言語おはなし会も実施した。11月の「子どもと本のつどい」（共催:豊子連）では、絵本作家の川端誠さんを講師に絵本ライブと講演会「絵本とともに旅をして」を開催した。また半立体作品や版画などの原画展も開催した。

子どもと本のまつり

子どもと本のつどい

おはなしボランティア
フォローアップ研修講座

＜おはなしボランティア＞

令和7年度も多くのボランティアグループが、回数や人数などに応じたプログラム作りを工夫したおはなし会を実施し、図書館では選書や打ち合わせの機会に相談に応じるなど活動をサポートしている。

図書館に関連する各グループの活動内容については「市民との取り組み事業」（10ページ）を参照。 岡町図書館では「子どもと本をつなぐボランティア講座」（全6回）を実施したほか、「おはなしボランティアフォローアップ研修講座」として、編集者で作家の松田素子さんによる講演「絵本という切符を持って～編集の現場から（絵本誕生秘話）～」を開催した。

＜「りんごの棚」展示セット＞

特別なニーズのある子どもたちの読書の手段を知るために「りんごの棚*」展示セットの貸出をおこなっている。8校の小中学校や、こども園、図書館などで計19回展示がおこなわれた。人権月間に合わせた活用のほか、図書の時間や人権学習、人権参観の際に紹介がおこなわれるなどした。「子どもたちの関心は高く、いい経験ができた」「よく手に取って見てくれた」「バリアフリーについて学べる機会となった」などの声が寄せられた。外国にルーツがある親子など、特別なニーズのある子どもたちに資料を届けるきっかけにもなっており、好評を得ている。

＊　スウェーデン生まれの「特別なニーズのある子どもたちのための資料を展示した棚」。すべての子どもに読書の楽しさを知ってもらうことが目的で、世界各地に広がっている。

◆ 資料の収集と保存

収集に関しては毎週 1 回、職員で構成する選書委員会で、市内全図書館の資料の選書をおこなっている。「豊中市立図書館資料収集方針」（図書館 Web サイトで公開）に基づき、市民の主体的な生涯学習活動を支援していくために市民の要望および社会の動向にも注視しながら、教養・調査研究・レクリエーション・ビジネス・日常の生活に役立つ資料を幅広く収集している。

また電子書籍については、職員で構成するデジタル図書館運営チームと選書委員会で、デジタルならではの特性を活かした選書をおこなっている。令和 7 年度は多様な読書ニーズに応えていくとともに、サービスの充実と利用の促進を図るにあたり、デジタル図書館の基本的な操作方法（YouTube 動画）を「豊中市デジタル図書館」に登録。夏休み期間には読書感想文におすすめの本を紹介、千里文化センターで開催された「とよなかデジタルサービスフェア」に電子書籍体験会を出展、令和 6 年度に続き LINE のリサーチ機能による「豊中市デジタル図書館」にかかるニーズ調査を実施するなど、豊中市デジタル図書館の PR に努めた。

保存については、野畑図書館書庫を豊中市立図書館全体の書庫としている。それぞれの図書館で個々の資料について職員の合議による検討をおこない、保存している。

◆ 暮らしの課題解決

図書館では市民生活のうえで特に関心の高い課題として、4つのテーマ「医療・健康情報（岡町）」「多文化共生（庄内）」「ビジネス・就労（千里）」「子育て・DV（野畑）」を設定している。講座や催しの実施や、資料収集・情報提供などを引き続き工夫しておこなった。

各テーマごとの取組み（市民協働事業については別途掲載 10 ページ）	
医療・健康情報	・認知症サポーター養成講座（会場：岡町、庄内、千里、野畑、東豊中、蛍池図書館　共催：長寿安心課・豊中市キャラバンメイト連絡会） ・小学生対象の認知症サポーター養成講座（会場：高川図書館　共催：緑地地域包括支援センター高川分室） ・認知症月間啓発展示（会場：全館・動く図書館　共催：長寿安心課） ・医療健康情報レクチャー「健口で健康長寿に～オーラルフレイルになっていませんか～」（会場：千里、服部図書館　共催：健康推進課） ・図書館 Web サイト上の闘病記リストの更新
多文化共生	・とよなか国際交流協会を通して、市内在住の外国語を母語とする人へ読みたい本・必要とする本（外国語で書かれたもの）のニーズ調査を実施 ・庄内図書館常設展示「ヒトハコ図書館」で外国語の本を展示・貸出 ・多文化共生コーナーに「読みたい本を教えてください投函箱」の設置 ・とよなか国際交流協会への外国語資料の配本・貸出 ・やさしい日本語図書館見学ツアー 日本語教室（会場：庄内、千里公民館・千里図書館　主催：とよなか国際交流協会）参加者に向けて、図書館の利用説明と案内 ・しょうない REK カフェ行事開催に係る関連図書と民族衣装の展示（会場：庄内図書館）
ビジネス・就労	・千里図書館ビジネス・就労支援コーナーにて月替わりのテーマ展示を実施、「ビジネス教養書コーナー」を新設 ・資格・検定テキストの充実
子育て・DV	・「図書館で一時保育～ほっと一息 私の時間～」を実施（会場：岡町、千里、野畑図書館） ・里親月間啓発展示（会場：岡町、東豊中、蛍池図書館、共催：特定非営利活動法人キーアセット） ・パスファインダー「子育て」「DV（ドメスティック・バイオレンス）」の改訂 ・図書館 Web サイト上の「子育て・DV（ドメスティック・バイオレンス）」のページの更新

◆ 人権・平和に関する取り組み

市民向けの取り組みとして、講演会や各種資料展示・パネル展などを実施し、市民と職員がともに人権・平和について考える機会としている。

また、職員が人権について理解を深め、市民への啓発につなげるため、年3回の研修をおこなっている。

市民向け人権講演会・資料展示
みんなの生きやすさと信頼を育てる ――「フェイク以上、ヘイト以下」に向き合う反うわさ戦略―― 講師：都留文科大学専任講師　上野貴彦さん（会場：人権平和センター豊中）（職員研修を兼ねて実施）
野畑地区人権講演会「LGBTQ ってなんだろう？」講師：こう行政書士事務所　康純香さん （会場：野畑図書館　主催：野畑地区人権推進協議会（野畑公民分館、野畑小学校 PTA、野畑図書館））
作品・資料展示「読むことが困難な子どもたちの読書の手段を紹介する『りんごの棚』展」 （会場：庄内、千里、蛍池図書館）
資料展示「戦争と平和の本（平和月間）」 （会場：岡町、庄内、千里、野畑、東豊中、服部、高川、蛍池図書館）
資料展示「男女共同参画週間連携展示 2025（男女共同参画週間）」 （会場：岡町、庄内、千里、服部、高川、蛍池図書館　共催：とよなか男女共同参画センターすてっぷ）
資料展示「人権関連資料（人権月間）」（会場：岡町、庄内、千里、野畑、東豊中、高川図書館）
参加型展示「平和の木」（会場：東豊中図書館）
作品・資料展示「第四中学校夜間学級作品展」（会場：岡町、東豊中、服部、高川、蛍池図書館）
資料展示「認知症の高齢者の人権に関する本」（会場：高川図書館）
職 員 研 修
「図書館の反うわさ戦略」講師：都留文科大学専任講師　上野貴彦さん 豊中市立図書館全体、人権政策課、とよなか国際交流協会の合同研修。外国人やマイノリティへの否定的なうわさや偏見を、住民全体で考え直す取り組みについて、ワークショップもおこないながら学んだ。岡町図書館会場で実施したものを会場もしくは動画中継・配信で受講。
人権政策課作成の「事例から学ぶ同和問題」の視聴と意見交換（実施館：全館）
「参加型で考える無意識の差別――マイクロアグレッションと社会のあり方――」 講師：えふらぼ　栗本敦子さん　人権政策課作成の動画の視聴と意見交換。（実施館：庄内、千里、東豊中、高川図書館）
法務省・内閣府男女共同参画局作成の DV・児童虐待についての動画の視聴と意見交換。（実施館：野畑、蛍池図書館）
人事課作成のセクシャルマイノリティーについての動画の視聴と意見交換。（実施館：岡町、服部図書館）

◆ 研修

月末の館内整理日を利用し、近年新館の建設が続いた吹田市から中央図書館の館長大平香代さんを迎え、「吹田市立図書館の作り方」を全職員で受講した。

専門研修は、障害者サービス・児童サービス・参考業務・学校図書館などのテーマについて継続して取り組んでいる。国立教育政策研究所実施の令和7年度図書館司書専門講座にも職員を派遣し、「地域コミュニティの基盤形成と図書館の可能性」をテーマに19講座を受講した。

また、新規採用職員においては、図書館の基本研修だけでなく、行政職員としての基本的な知識や技術習得のための庁内研修のほか、市内で活動するボランティア団体での活動体験研修を受講した。

職員が受講した主な研修（職場研修、個人研修含む）

専門研修	一般研修
新規採用職員実地研修	新規採用職員研修
豊中市立図書館職員研修会	人権研修
令和 7 年度 図書館等職員著作権実務講習会	契約事務研修
令和 7 年度図書館司書専門講座	仕事力向上研修
大阪公共図書館協会 障がい者サービス基本研修	接遇基本研修
令和 7 年度大阪公共図書館協会研修会	職員手話講習会
令和 7 年度大阪府図書館司書セミナー	情報セキュリティ研修
2025 年度 第 73 回 大阪公共図書館大会	認知症サポーター養成講座
大子連児童文化講座	市ホームページ作成担当研修
講演と新刊紹介 2024 年に出版された子どもの本	協働推進委員研修
子どもと本をつなぐボランティア講座	
令和 7 年度公立図書館と学校との合同研修	
2025 年度 新担当者向けブックスタート研修会	
令和 7 年度ブックスタート事業「えほんはじめまして」スタッフ研修	
令和 7 年度近畿地区図書館地区別研修	
図書館でのより良い医療情報提供のあり方を考える 2025（図書館総合展）	
大阪公共図書館協会 令和 7 年度児童サービス基本研修・中堅研修	

計 115 講座 953 人参加

6. 情報発信（広報・広告など）

市民サービスの向上および地域の活性化を図るため、各種媒体を活用した情報発信・広報・広告事業を進めている。

教育委員会の公式 X（旧 Twitter）では、各種サービスや行事の発信、新着資料の紹介などを随時おこなっている。令和 7 年度は 187 回の投稿で、令和 6 年度から 3 割程度投稿数が増えた。「とよなかっ子ライン」（こども安心課）においても、児童・生徒に向けて本の紹介を月 1 回おこなっている。その他、子育ち・子育て応援アプリ「とよふぁみ」（こども政策課）でも、行事の情報を随時発信した。

蛍池図書館では、入居しているルシオーレビルの LINE などで行事の発信をおこなったり、市民団体「蛍池図書館を考える会」の協力を得て、共催事業などのチラシの地域への配布をおこなうなど、普段図書館を利用していない層への情報発信も積極的におこなった。

また以下のメディアに豊中市立図書館に関する記事などが掲載された。

メディア掲載一覧

タイトル・内容等	メディア		種類
記事：動く図書館！（梅花中学校・梅花高等学校内での動く図書館巡回の紹介）	BAIKAダイアリー	2025.4	Web
告知：服部図書館でおゆずりぐるり	おゆずりぐるり公式Instagram	2025.4	
記事：駅前の風景が大きく変わるかも！？？／曽根駅前に新設される予定の「豊中市（仮称）中央図書館」は「ヴァイキングビル」跡地にできる「10 階建ての建物」の「2・3 階に入る」らしいので本当なのか調べてみた	TNN豊中報道。2	2025.6	
告知：東豊中図書館でおゆずりぐるり	おゆずりぐるり公式Instagram	2025.6	
記事：府内最古の歴史があるって知ってた？／テレビ大阪の人気番組「誰も知らんキング」で豊中市の「動く図書館」が映るみたい	TNN豊中報道。2	2025.7	
記事：「沢山の人に図書館を利用して欲しい」という願いを込めたオリジナルバッグ／岡町図書館で「としょかんバッグ」のプレゼントが行われている	TNN豊中報道。2	2025.8	
記事：豊中市立蛍池図書館、軽食を食べながら豊中市デジタル図書館が所蔵するオーディオブックを聴く「ランチタイム・ソラ」を開催	カレントアウェアネス-R	2025.8	
告知：岡町図書館でおゆずりぐるり	おゆずりぐるり公式Instagram	2025.8	
記事：作家・増山実さんのお話が聞けるチャンス／岡町図書館で「増山実の世界～昼下がりのトヨナカで～」が開催されるみたい	TNN豊中報道。2	2025.9	
Library of the Year 2025 のライブラリアンシップ賞・優秀賞の受賞機関が発表（北摂アーカイブス）	カレントアウェアネス-R	2025.9	

タイトル・内容等	メディア		種類
記事:岡町図書館で行われた豊中市立図書館80周年記念行事「増山実の世界～昼下がりのトヨナカで～」に行ってきた	TNN豊中報道。2	2025.10	Web
記事：曽根駅前に新設される予定の「豊中市（仮称）中央図書館」の計画に変更があるみたい／読書振興課に話を聞いて来た	TNN豊中報道。2	2025.10	
告知：野畑図書館でおゆずりぐるり	おゆずりぐるり 公式Instagram	2025.10	
報告：健康わくわく広場@蛍池図書館	大阪北部ヤクルト 公式Webサイト・ Instagram	2025.11	
記事：曽根駅前に新設される予定だった「豊中市（仮称）中央図書館」の計画が白紙に／市は第二候補地だった豊島公園での整備を検討するって	TNN豊中報道。2	2025.11	
紹介：きどまや絵本パネル展『なんじなんぷんなんのじかん？』 告知：「豊中在住の絵本作家・きどまやさんと絵本を楽しむワークショップ」	『SMILE』 公式Instagram	2025.11	
告知：きどまや絵本パネル展『なんじなんぷんなんのじかん？』	きどまや 公式Instagram	2025.12	
移動図書館特集 ・積載冊数ランキングで第3位にランクイン ・アルビス旭丘での巡回風景と利用者3名のインタビュー ・市町村立では日本最古であることの紹介　等	テレビ大阪「大阪43市町村を大調査！誰も知らんキング」	2025.7	TV
蛍池図書館リニューアルオープンと「ほたるえほんサロン」の紹介	FM千里	2025.4	ラジオ
リニューアルオープン記念事業「紫式部の世界にふれる～『源氏物語』と紫式部～」の紹介	FM千里	2025.5	ラジオ
記事：蛍ケ池 再び光舞う日を（蛍池図書館で開催した講演「ほ、ほ、蛍 来い」の、講師の活動を紹介）	毎日新聞北摂版	2025.6	新聞
しょうないREK 18年の軌跡	図書館雑誌	2025年4月号	雑誌
避難所における子どもの居場所：避難所向け絵本の選定	人間と文化	2025年 巻8	雑誌 (学術機関リポジトリにて電子のみ発行)
記事：図書館が生まれた（蛍池図書館のリニューアルの紹介）	図書館の学校	2025年冬号	機関紙･PR誌
表紙イラストに蛍池図書館、「今月の表紙」に蛍池図書館の紹介	aperitif	2025年 6-7月号	

タイトル・内容等	メディア		種類
UR賃貸住宅「東豊中第2」図書館徒歩圏内、写真付きで東豊中図書館を紹介	あんふぁん	2025年8月号	ミニコミ誌
「豊中在住の絵本作家･きどまやさんと絵本を楽しむワークショップ」案内（蛍池図書館共催）	SMILE	第29号	
記事：みんなでつながるーむ（「絵本を楽しむワークショップ」報告）		第30号	
6・7月巡回日程（北会館・天理教会・アトリオ前)、蛍池図書館リニューアルのお知らせ	ふるさと刀根山	vol.38 (2025.6)	校区広報誌
9～11月巡回日程（北会館・天理教会・アトリオ前)、蛍池図書館「相続対策のポイント」「スマホ相談会」案内		vol.39 (2025.9)	
12・1月巡回日程（北会館・天理教会・アトリオ前)、「動く図書館 75周年記念イベント」案内		vol.40 (2025.12)	
3～5月巡回日程（北会館・天理教会・アトリオ前)、蛍池図書館「ほっとブックミーツ」案内		vol.41 (2026.3)	

7. 職員による出前講座・講師派遣、視察

各種イベントや講座会場など市内外のさまざまな市民参加の場に出向いて、関係機関と連携しながら講座や資料提供をおこなっている。テーマにそった関連資料を紹介・提供し、子どもから大人まですべての世代が読書に親しむ機会や、より広く深く情報を得られる機会となるよう努めている。

出前講座

＜子育て中の保護者を対象にした絵本講座＞
「子育てサークル・子育てサロン」「千里親子ふれあい広場」等
＜学びの場での子どもの読書に役立つ図書館活用講座＞
「新任学校司書研修」「校内研修」「マチカネ先生塾」
＜おはなしボランティアを対象とした絵本講座＞
「みなさくおはなしタイムフォローアップ講座」「絵本を楽しむ、絵本を知る～2025 年出版の絵本を中心に、傾向を見る～」
＜（仮称）中央図書館関連＞
「(仮称)中央図書館整備について」

各種講座での資料・図書館紹介

「認知症サポーター養成講座」「医療健康情報レクチャー「健口で健康長寿に」」公民館各種講座　等

講師派遣

図書館基礎講座 2025 in 関西
図書館総合展 2025 フォーラム in 茨木

視察等受入れ

＜視察＞　（　　）は受入施設
・茨木市おにクルぶっくぱーく、座間市議会、諏訪市議会、ふじみ野市議会、塩尻市議会、嘉手納町議会、追手門学院大学図書館：図書館で一時保育（岡町図書館）
・四国大学：ブックプラネット事業（岡町図書館）
・箕面市子ども未来部：ブックスタート事業（千里図書館）
・(一財)千里パブリックデザイン、天理大学：北摂アーカイブス（岡町図書館）　　等
＜インターンシップ・実務研修＞
・京都女子大学、関西大学、京都精華大学：図書館実習（岡町、千里、野畑図書館）
・豊中高校ボランティア志学：図書館ボランティア（岡町、庄内、千里、東豊中、蛍池図書館）
・京都橘大学、箕面自由学園高校：図書館ボランティア（岡町、蛍池図書館）
・サポートセンターる～ぷ、就労移行支援ハンズ：就労移行事業（庄内、蛍池図書館）

8. 図書館協議会

令和 7 年度は 3 回（8、12、3 月）開催された。

同年度は新たに「動く図書館の今後の方向性について」をテーマとして取り上げ、協議をおこなった。

会議録は図書館 Web サイトで公開している。

令和 7 年度の委員一覧

名　前	団 体 名・役 職 等
田 辺　　譲	小学校長会代表
杉 本　光 子	中学校長会代表
藤 井　典 子	こども園長会代表
昇　　麗 子	豊中子ども文庫連絡会
樋 口　弘 子	豊中図書館の未来を考える会
◎　福 井　佑 介	学識経験者
○　山 本　晃 輔	学識経験者
森　美 由 紀	学識経験者
中　　和 久	市民公募

◎委員長　○委員長職務代理者

9. 図書館評価

図書館運営を振り返り、効果的・効率的な運営と、より一層の図書館サービスの向上および地域との情報共有を図る仕組みとして、平成 20 年度から「豊中市立図書館評価システム」（以下、「評価システム」という。）を導入し、図書館運営に関する自己点検と外部評価を実施している。毎年の評価項目・指標については「豊中市の図書館活動Ⅱ 統計・資料」に簡略化して掲載している。

それまで評価システムでおこなっていた進捗管理を「豊中市立図書館の中長期計画（豊中市立図書館グランドデザイン)」（以下、「グランドデザイン」という。）の策定を機に、平成 26 年度からはグランドデザインの進行管理と一体化した。さらに令和 2 年度は、「豊中市（仮称）中央図書館基本構想」（以下、「基本構想」という。）の策定に際し、グランドデザインの目標設定や進行管理は基本構想に包含する形で継承されることとなった。

評価項目の一つである満足度を把握するための来館者アンケートを、従来 5 年ごとにおこなっていた。前回の評価委員会から、5 年ごとでは利用者ニーズの把握が充分ではないとの意見を受けたことから、中間年である令和 7 年度（2 月）に実施した。内容は、満足度調査の部分を従来と同じ項目でおこない、その他の部分は昨今の図書館でのトピックスを反映したものとし、図書館協議会での意見交換を経て決定した。この調査によって、利用者のニーズなどを把握し、より一層のサービス向上に取り組んでいく。

10. とよなかブックプラネット事業

学齢期の子どもたちの多様な読書・学習活動をささえるため、学校図書館と公共図書館の蔵書を一体的かつ効果的に活用する環境を整備し、相互の連携強化に取り組んでいる。

夏休みに、休館日の図書館（岡町、庄内、千里、野畑図書館）を利用し、学校司書と連携して、小学校 4～6 年生の児童が調べ学習の一連の流れを体験する「知的探究合戦 めざせ！図書館の達人」を開催した。12 月に豊中市立文化芸術センター小ホールでおこなった「子ども読書活動フォーラム」では、「図書館の達人」の優勝 4 チームの表彰と、「豊中市ビブリオバトルチャンピオンシップ中学生大会」を実施し、児童生徒の成果発表の場として、読書活動・学習活動の活性化を図った。また、学校図書館活用データベースの教員用アカウントを各校に配布し、教員がアクセスしやすい環境を整えるとともに、授業活用記録の登録を全校に依頼し、37 件の登録があった。

11. 豊中市（仮称）中央図書館基本構想

「豊中市（仮称）中央図書館基本構想」の推進にあたり、令和 7 年度に実施した主な取り組みは以下のとおり。

◆（仮称）中央図書館整備計画説明会

6 月に中央公民館を会場に、令和 6 年度に策定した「豊中市（仮称）中央図書館整備計画」について、市の考え方を説明し、市民から意見を聞き取る機会を設けた。33 人の参加があった。

◆曽根駅周辺まちづくりプロジェクト・チームの発足

11 月に第一優先候補地での（仮称）中央図書館整備を断念し、令和 8 年 1 月に岡町図書館、中央公民館の 2 会場で、計画変更に関する説明会を実施した。

第 2 候補地の豊島公園での整備について調査・検討を始め、令和 8 年 1 月からは新しく始動した曽根駅周辺まちづくりプロジェクト・チームの中で取り組みを継続。3 月には同チーム主催の「曽根駅周辺まちづくりワークショップ」にて、豊島公園や曽根駅周辺のまちづくりの未来について市民から意見を聴いた。

◆市民ワークショップ「（仮称）中央図書館をつくろう 3」

豊島公園での整備で広がる図書館の可能性や、図書館と公園を中心とする曽根駅周辺エリアでのすごし方など、候補地変更の検討を踏まえたワークショップを市内 3 か所でおこなった。

参加者個人のライフスタイルをもとに、グループごとに割り振った架空の市民を想定して意見交換をおこない、必要な空間やモノ・サービスについて検討した。

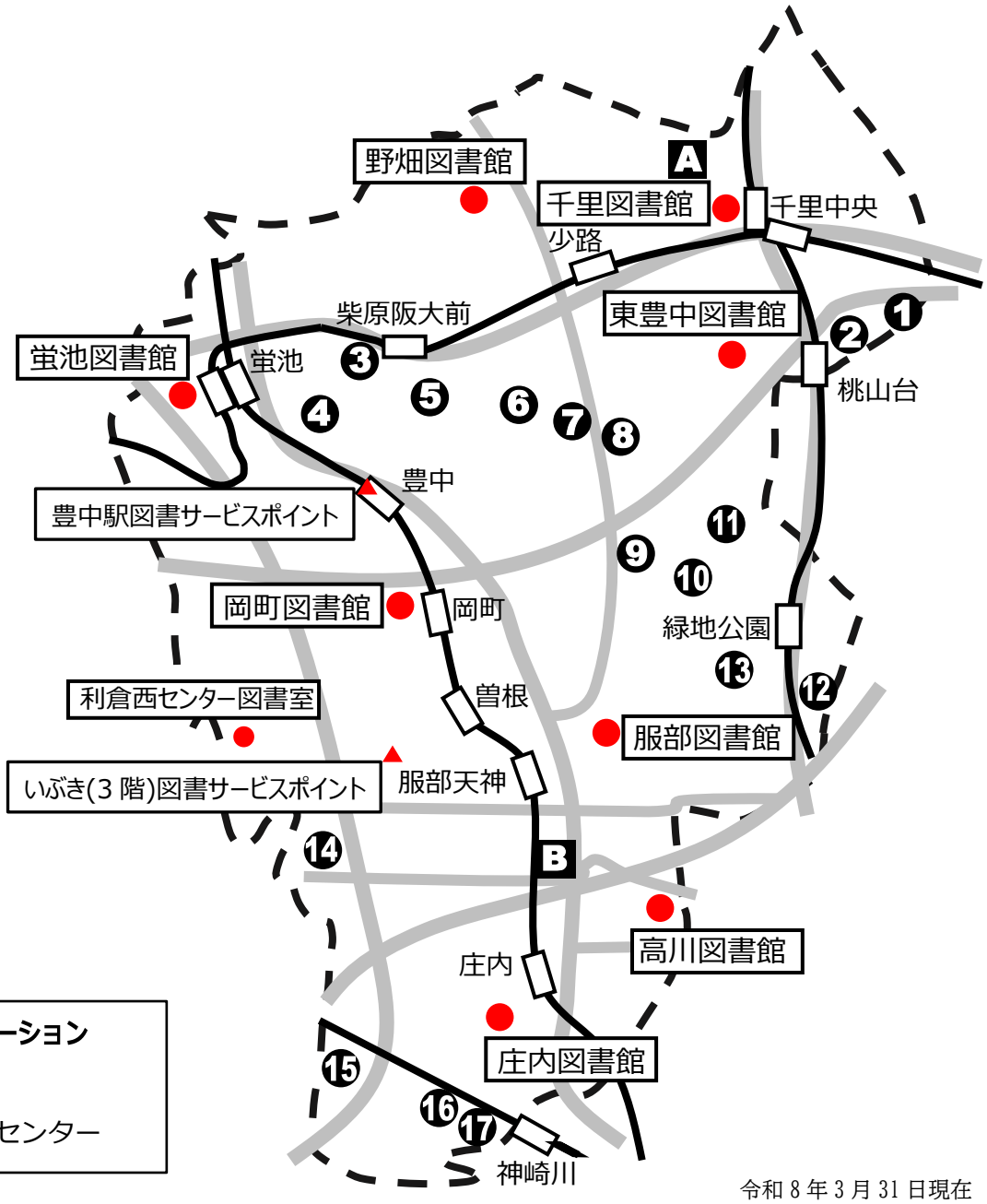
■参加人数　千里文化センター「コラボ」：11 人
庄内コラボセンター「ショコラ」：10 人
中央公民館：19 人

◆ その他、市民との関係づくり

取り組みを市民と共有するため「図書館みらい通信」を 12 回発行した。また、「子ども健やか育みフォーラム」の会場（アクア文化ホール）で、育児に関心のある人を対象に、（仮称）中央図書館へ期待することのシール投票をおこなった。

施設案内

図書館マップ



施設巡回ステーション

A 豊中支援学校

B 児童発達支援センター

令和 8 年 3 月 31 日現在

動 く 図 書 館 ス テ ー シ ョ ン

① 上新田４（朝日プラザ千里Ａ棟前）
② 上新田４（桃山台グリーンマンション）
③ 刀根山元町（刀根山元町北会館）
④ 刀根山４（アトリオとねやまこども園前）
⑤ 刀根山２（天理教会高香分教会）
⑥ 本町９（住友化学社宅４号棟前）
⑦ 上野西１（梅花中学校・高等学校円形校舎前）
⑧ 上野東１（豊松園ハイツＢ棟前）
⑨ アルビス旭ヶ丘（６-４号棟北側）
⑩ 西泉丘２（グランドールマンション）
⑪ 東泉丘４（ジオ緑地公園３番館）
⑫ 東寺内町（寺内南公園）
⑬ 寺内１　（都市緑化植物園入口前）
⑭ 上津島２（上津島センター）
⑮ 庄本町３（そんぽの家豊中庄本町横駐車場）
⑯ 二葉町１（市営二葉第二住宅）
⑰ 大島町２（洲到止八幡宮）

施設概要

令和 8 年 3 月 31 日現在

館　　名	設置年月 構　造	蔵書 冊数	敷地面積 専用床面積	その他施設概要
岡町図書館 岡町北 3-4-2 6843-4553	昭和 20 年(1945 年) (平成 4 年 5 月改修) 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 4 階建/ 地下 1 階	約 24.0 万 冊	1,309.09 ㎡ 3,272.08 ㎡	
服部図書館 服部本町 5-2-8 6862-0800	平成 11 年(1999 年)1 月 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 3 階建	約 5.9 万冊	2,282.39 ㎡ 708.29 ㎡	複合施設 服部介護予防センター
庄内図書館 庄内幸町 4-29-1 庄内ｺﾗﾎﾞｾﾝﾀｰ内 2 階 6334-1261	昭和 50 年(1975 年)7 月 (令和 5 年 2 月移転) 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 4 階建	約 6.9 万冊	4,890.95 ㎡ 1113.38 ㎡	複合施設 庄内公民館 子育て支援センター ほっぺ南部分室 市民公益活動支援センター 庄内保健センター こども・教育総合相談窓口 市役所庄内出張所 豊中しごと・くらしセンター 庄内介護予防センター
高川図書館 豊南町東 1-1-2 6336-6901	平成 12 年(2000 年)6 月 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 3 階建	約 6.8 万冊	1,563.11 ㎡ 1,257.90 ㎡	複合施設 高川スポーツルーム 高川老人憩の家 高川介護予防センター
千里図書館 新千里東町 1-2-2 千里文化ｾﾝﾀｰｺﾗﾎﾞ内 4 階 6831-0225	昭和 53 年(1978 年)4 月 (平成 20 年 2 月ﾘﾆｭｰｱﾙ) 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 4 階建	約 13.8 万 冊	3,089.29 ㎡ 1,731.81 ㎡	複合施設 市役所新千里出張所 千里保健センター 千里公民館 千里介護予防センター
東豊中図書館 東豊中町 5-2-1 6856-4660	平成 5 年(1993 年)11 月 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 3 階建	約 5.8 万冊	3,173.54 ㎡ 1,068.58 ㎡	複合施設 ゆたかこども園
野畑図書館 春日町 4-11-1 6845-2400	昭和 63 年(1988 年)6 月 鉄骨鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 3 階建 /地下 1 階	約 31.9 万 冊	2,000.01 ㎡ 3,846.46 ㎡	
蛍池図書館 蛍池中町 3-2-1-502 ルシオーレ内 5 階 6840-8000	平成 15 年(2003 年)5 月 (令和 7 年 4 月ﾘﾆｭｰｱﾙ) 鉄骨鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 7 階建	約 5.1 万冊	3,762.59 ㎡ 672.98 ㎡	複合施設 蛍池公民館 パスポートセンター 豊中市教育センター 蛍池老人憩の家 商業施設
動く図書館 岡町図書館より出動	昭和 25 年(1950 年)	約 3,000 冊	ステーション 17 か所 施設 2 か所	
利倉西センター図書室 利倉西 1-4-22	平成 29 年(2017 年)7 月	約 5,500 冊	※動く図書館・図書室は岡町図書館所属	

休館日・開館時間

令和 8 年 3 月 31 日現在

岡町図書館 **庄内図書館** **野畑図書館**	毎週月曜日（その日が休日*1 に当たるときはその翌日以降の最初の休日に当たらない日） 12 月 29 日から翌年 1 月 4 日（1 月 4 日が月曜日に当たるときは 1 月 5 日）まで 館内整理日（8、12 月を除く毎月最終金曜日。ただしその日が国民の祝日*2 に当たるときはその前日）、特別整理期間
千里図書館	12 月 29 日から翌年 1 月 4 日まで 館内整理日（12 月を除く毎月最終金曜日。ただしその日が国民の祝日に当たるときはその前日）、特別整理期間
東豊中図書館 **服部図書館**	毎週月曜日（その日が国民の祝日に当たるときはその翌日以降の最初の国民の祝日に当たらない日）、12 月 29 日から翌年 1 月 4 日（1 月 4 日が月曜日に当たるときは 1 月 5 日）まで 国民の祝日（日曜日及び土曜日を除く）、館内整理日（8、12 月を除く毎月最終金曜日。ただしその日が国民の祝日に当たるときはその前日）、特別整理期間
高川図書館 **蛍池図書館**	毎週金曜日（その日が国民の祝日に当たるときは、その前日以前の最初の国民の祝日に当たらない日）、12 月 29 日から翌年 1 月 4 日（1 月 4 日が金曜日に当たるときは 1 月 5 日）まで 国民の祝日（日曜日及び土曜日を除く）、館内整理日（8、12 月を除く毎月最終木曜日。ただしその日が国民の祝日に当たるときはその前日）、特別整理期間

*1　国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日をいう。以下同じ。

*2　同法第 2 条に規定する国民の祝日をいう。以下同じ。

		成人室	こども室	参考室
岡町図書館	火～金	10 時～19 時	10 時～17 時	
庄内図書館	火～金	10 時～19 時		
千里図書館	月	10 時～17 時		
	火～金	10 時～20 時		
野畑図書館	火～金	10 時～19 時		
東豊中・服部図書館	火～金	10 時～17 時		
高川図書館	月・水	10 時～19 時		
	火・木	10 時～17 時		
蛍池図書館	月～木	10 時～19 時		
豊中駅図書サービスポイント	火～金	10 時～20 時		
※上記は、土・日　10 時～17 時				
利倉西センター図書室	水・日	14 時～17 時		
いぶき（3階）図書サービスポイント	水・土	13 時 15 分～16 時 45 分（青少年交流文化館いぶき内）		

※祝日開館の場合は 10 時～17 時（岡町、庄内、千里、野畑、東豊中、服部、高川、蛍池図書館、豊中駅図書サービスポイント）
※休日開館の場合は 10 時～17 時（岡町、庄内、千里、野畑、東豊中、服部図書館、豊中駅図書サービスポイント）

発　行　日　　令和8年（2026年）9月発行
編集・発行　　豊 中 市 立 岡 町 図 書 館
https：// www.lib.toyonaka.osaka.jp

豊中市立図書館
QRコード